

中央会やまぐち

特集

- ①価格転嫁状況及び賃上げに関する調査結果について
- ②外国人材の活用について

Close Up組合 エレマ協同組合

中央会TOPICS

組合TOPICS

景況動向



9

2025
SEP

Vol.809





代表理事
小林英三 氏

Close Up組合 クローズアップ

エレマ協同組合

〒740-0022 岩国市山手町2-1-3

(株)アシストアンドサポート内

TEL 0827-29-3000

FAX 0827-29-3005

代表理事 小林 英三

業界全体の活性化と持続的な発展を目指して

組合の概要

平成10年3月に組合員の技術やノウハウ等の経営資源を活用し、新商品・新製品の開発に積極的に取り組むため、中小企業創造活動促進法に基づく事業計画の認定を受けました。その後、研究開発を行うために岩国市内の一般土木建築工事業、熱絶縁工事業、受託開発ソフトウェア業、製缶板金業、化学機械・同装置製造業、の異業種5社で協同組合を設立しました。

砂場砂浄化装置の開発

平成9年度に協同組合の前身であるエレマクラブ(任意グループ)が、当時問題となっていた公園や学校等の砂場砂汚染の改善に取り組みました。中小企業多角的連携促進事業として、サンドクリーナー(砂のゴミや異物を取り除く機器)の開発をテーマに、自治体に対するニーズ調査を実施しました。



砂場浄化装置「砂場くん」

また平成10年度には、類似の取組事例調査・砂浄化方法の選定について融合化開発促進事業費補助金を受

けて、砂を機械装置に投入し、内部で燃焼し殺菌することで清潔な砂にする「砂場砂(公園・学校等)の浄化・改良(改質)装置」の研究開発を行いました。

砂場砂浄化装置の改良及び販促活動

平成11年度には、地域産業活性化推進事業費補助金を受けて砂場浄化装置「砂場くん」の改良及び需要開拓事業により、市場ニーズに合わせての部分改良、小学校の砂場砂の浄化を実演、その様子を撮影した映像による自治体への販促活動等を行いました。



新聞広告

これからの組合活動について

現在は、研究開発型の組合から、設備工事業を中心に新たな共同事業を模索しています。地域経済の基盤を支えるプラントメンテナンス業界の人材不足や高齢化という喫緊の課題に対し、横の連携と多様な業種・人材に対する様々な取り込みを通じて解決を図ろうと考えています。

組合の活動を通じて、メンバー企業間の協力体制を強化し、個々の企業だけでは対応しきれない課題を解決し、プラントメンテナンス業界の持続的な発展を目指しています。

山口県中小企業団体中央会では、会員組合等傘下の中小企業に対し、原材料費や人件費（賃金等）増加に対する販売・受注価格への転嫁状況、令和7年1月1日～7月1日における賃金改定状況に関する調査をしましたので、その結果についてお知らせします。

I. 調査の概要

1 調査方法

例年実施する「中小企業労働事情実態調査」の項目として実施

2 調査時期

調査時点：令和7年7月1日

3 調査対象及び回答数

調査対象：800事業所（従業員1人以上300人以下）

回答数：241事業所（回答率：30.1%）

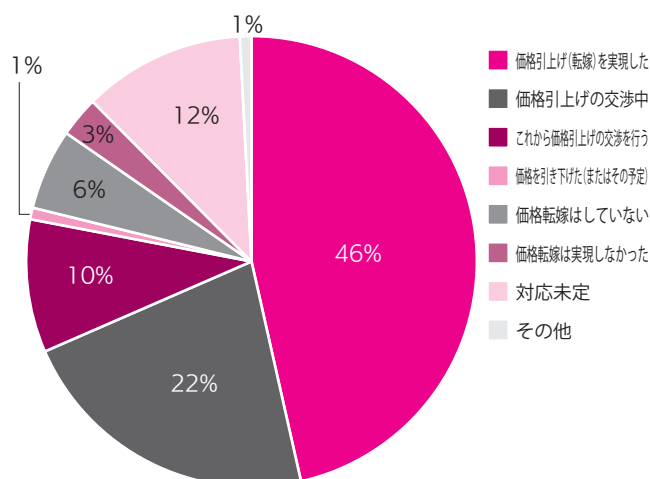
II. 原材料費等増加に対する販売・受注価格への転嫁状況

1 原材料費、人件費（賃金等）増加に対する販売・受注価格への転嫁状況

○原材料費、人件費（賃金等）増加に対し、販売・受注価格への「価格引上げ（転嫁）を実現した」と回答した事業所は46%であり、前年調査時の49%より若干減少している。

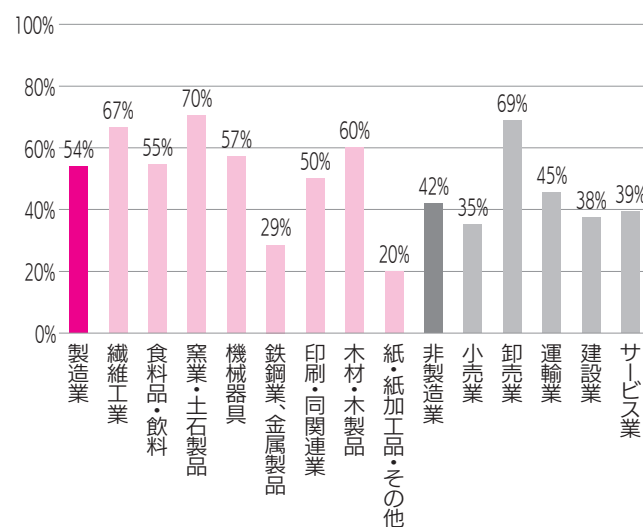
	R7回答数	R7	R6	R5
価格引上げ（転嫁）を実現した	112	46%	49%	51%
価格引上げの交渉中	53	22%	17%	16%
これから価格引上げの交渉を行う	23	10%	9%	7%
価格を引き下げた（またはその予定）	2	1%	0%	0%
価格転嫁はしていない	14	6%	8%	11%
価格転嫁は実現しなかった	7	3%	3%	3%
対応未定	28	12%	12%	10%
その他	2	1%	2%	3%
計	241			

販売価格への転嫁状況



○「価格引上げ（転嫁）を実現した」事業所の業種別割合は、「窯業・土石製品」（70%）、「繊維工業」（67%）、「木材・木製品」（60%）などの製造業が54%と多く、「小売業」（35%）、「建設業」（38%）、「サービス業」（39%）などの非製造業は42%と少ない。

価格引上げ（転嫁）を実現した事業所（業種別）

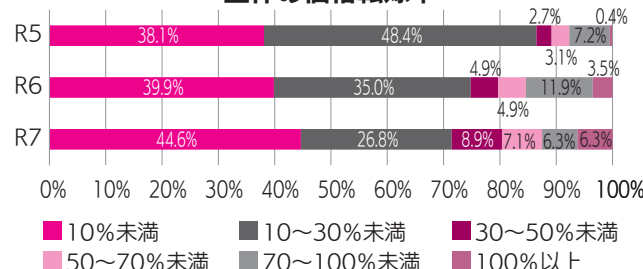


2 原材料費、人件費、利益を含めた販売・受注価格への転嫁内容と転嫁割合

○「価格引上げ（転嫁）を実現した」事業所のうち、コスト上昇分の販売・受注価格への転嫁割合は「10%未満」（44.6%）が最も多く、また、8割以上の事業者が転嫁割合は50%未満となっているなど、価格転嫁率の割合は低く昨年と同程度となっている。

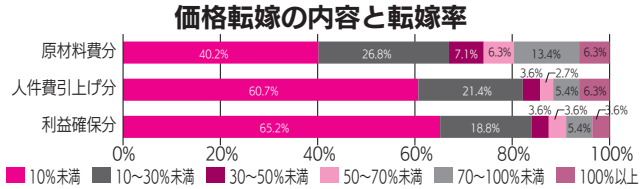
	R7	R6	R5
10%未満	44.6%	39.9%	38.1%
10～30%未満	26.8%	35.0%	48.4%
30～50%未満	8.9%	4.9%	2.7%
(小計) 50%未満	80.3%	79.8%	89.2%
50～70%未満	7.1%	4.9%	3.1%
70～100%未満	6.3%	11.9%	7.2%
100%以上	6.3%	3.5%	0.4%

全体の価格転嫁率



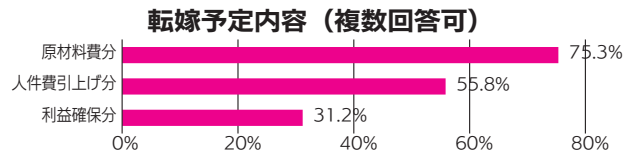
○「価格引上げ（転嫁）を実現した」事業所の転嫁内容は、「原材料費分」は3割近くの事業者が50%以上転嫁できたとする一方、転嫁割合が10%未満とする事業所が4割ある。また、「人件費引上げ分」及び「利益確保分」は転嫁割合が10%未満とする事業所が6割以上となっており、「原材料費分」と比べ価格転嫁率が進んでいない。

	10%未満	10～30%未満	30～50%未満	50～70%未満	70～100%未満	100%以上
原材料費分	40.2%	26.8%	7.1%	6.3%	13.4%	6.3%
人件費引上げ分	60.7%	21.4%	3.6%	2.7%	5.4%	6.3%
利益確保分	65.2%	18.8%	3.6%	3.6%	5.4%	3.6%



○「価格引上げの交渉中」または「これから価格引上げの交渉を行う」事業者が転嫁を行う予定の内容は、「原材料費分」（75.3%）が最も多く、次いで「人件費引上げ分」（55.8%）、「利益確保分」（31.2%）となっている。

	R 7
原材料費分	75.3%
人件費引上げ分	55.8%
利益確保分	31.2%

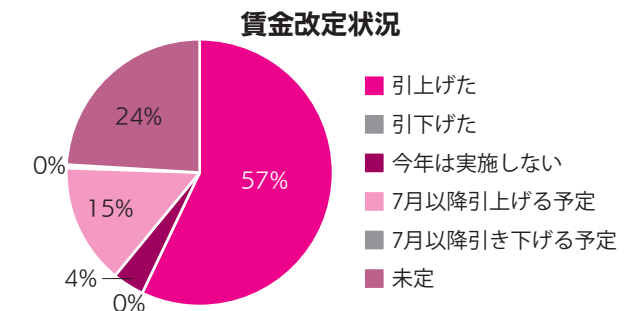


Ⅲ. 賃金改定状況

1 賃金改定実施状況

○「令和7年1月1日～7月1日の間に賃金を上げた」（57%）及び「7月以降引上げる予定」（15%）を合わせ、7割の事業所が賃金改定を実施または予定している。一方、3割の事業所は「未定」（24%）、または「今年は実施しない」（4%）としている。

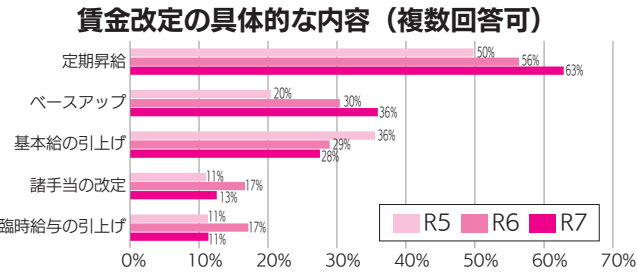
	R 7	R 6	R 5
上げた	57%	56%	53%
引下げた	0%	1%	0%
今年は実施しない	4%	12%	13%
7月以降引上げる予定	15%	13%	15%
7月以降引き下げる予定	0%	0%	1%
未定	24%	18%	18%



2 賃金改定の具体的な内容と平均昇給額（加重平均）・昇給率

○賃金を「引上げた、または、7月以降引上げる予定」と回答した事業所の改定の具体的な内容は「定期昇給」（63%）が最も多く、次いで「ベースアップ」（36%）となっており、いずれも昨年より増加している。

	R 7	R 6	R 5
定期昇給	63%	56%	50%
ベースアップ	36%	30%	20%
基本給の引上げ	28%	29%	36%
諸手当の改定	13%	17%	11%
臨時給与の引上げ	11%	17%	11%



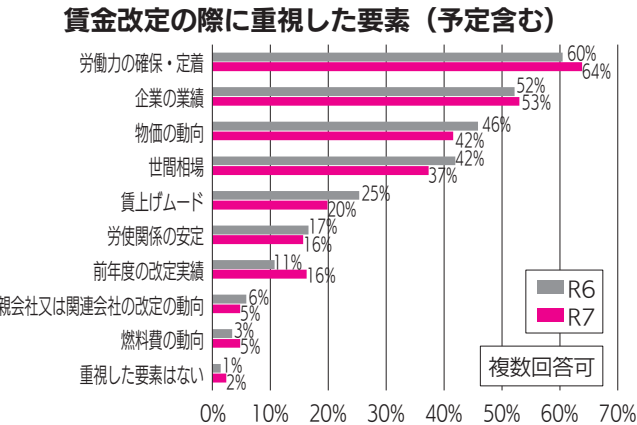
○賃金を「引上げた」と回答した事業所の平均昇給額は10,849円、昇給率は4.04%となっており、いずれも昨年より高くなっている。

	対象者数	改定前平均賃金	改定後平均賃金	平均昇給額	昇給率
R 6	3,733	265,925	274,730	8,805	3.31
R 7	3,722	268,800	279,649	10,849	4.04

3 賃金改定の際に重視した要素

○賃金を「引上げた、または、7月以降引上げる予定」と回答した事業所が改定の際に重視した、またはする予定の要素として、最も多かったのは「労働力の確保・定着」（64%）で、次いで「企業の業績」（53%）、「物価の動向」（37%）となっている。

回答者数（n=166）	R 7	R 6
労働力の確保・定着	64%	60%
企業の業績	53%	52%
物価の動向	37%	46%
世間相場	30%	42%
賃上げムード	20%	25%
労使関係の安定	16%	17%
前年度の改定実績	16%	11%
親会社又は関連会社の改定の動向	5%	3%
燃料費の動向	5%	6%
重視した要素はない	2%	1%



特集2 外国人材の活用について

山口県では、県内中小企業等において深刻化する人手不足対策の一環として、今年6月に「外国人材確保定着強化協議会」を設置し、産官学金の連携の下、外国人材の確保と定着に取り組む県内企業等を支援することとしています。

山口県中小企業団体中央会では、山口県からの委託を受け、「山口県外国人材確保定着強化協議会」の運営及び事業を実施することとなりましたので、その主な事業についてお知らせします。

1 外国人材の確保・定着に係る経費補助

○ 外国人材を新たに受け入れる県内中小企業等に対し、確保・定着に係る経費の一部を補助

【「山口県外国人材確保定着支援補助金」の概要】

区分	補助事業		補助対象経費	補助率	補助上限額
	番号	名称			
確保支援	①	外国人材紹介手数料支援	中小企業者等と外国人材の雇用契約成立に伴い発生する紹介手数料	1/2以内	30万円
	②	現地調査費支援	現地調査や送出し機関の視察等に要する経費（渡航費、宿泊費等）		
	③	在留資格認定証明書交付申請支援	雇用時に取得する在留資格認定証明書の交付申請に要する経費（申請代行費、相談費等）		
定着支援	④	スキルアップ支援	技能検定、日本語能力試験等に要する受験手数料		
	⑤	インターンシップ等支援	外国人材のインターンシップや企業見学等の一時受入に要する経費（渡航費、宿泊費等）		
	⑥	コミュニケーション支援	現職社員が外国人材の母国語を学習する際に要する経費（講師謝金、交通費、教材費、会場使用料等）		
	⑦	就業環境整備支援	就業規則、社内マニュアル、人事評価等の多言語化や外国人材との交流等を図る多目的ルームの設置に要する経費（翻訳料、備品・消耗品費、施設の設置・改修費等）		
	⑧	地域交流・文化体験支援	地域行事への参加、地域住民や社員との交流活動、県内の自然・歴史・文化等の学習・体験に要する経費（講師謝金、交通費、会場使用料、体験料等）		
	⑨	日本語能力向上支援	日本語能力向上のために行う研修等に要する経費（講師謝金、交通費、教材費、会場使用料等）		15万円

※補助金の申請及び交付は、「確保支援」「定着支援」の各区分につき、当該年度中にそれぞれ1回限りとする。

※複数の補助事業を組み合わせた申請も可能とする。

※補助事業者1者あたり、当該年度における全ての補助金の交付総額は30万円を上限とする。ただし、「日本語能力向上支援補助」については、当該補助のみの交付上限額を15万円とし、他の補助と組み合わせて申請する場合でも、全体の交付上限額は30万円を超えないものとする。

※補助金の額に千円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。

※事業計画認定前に契約・支払等を行った経費は、補助対象経費に含めない。

※一度補助金の交付を受けた者は、翌年度以降の申請はできない。

2 普及啓発イベント・セミナーの開催

○ 協議会の周知と賛助会員参画促進を目的に、イベントやセミナーを開催（第1回を下記の通り開催します）

【第1回：「人材不足解消のための外国人材活用セミナー」の概要】

外国人材活用の基礎知識の解説とベトナムに開設予定の「山口県サポートデスク」の役割や支援内容を紹介します。

- ・日 時 令和7年9月11日(休) 13:30～15:00
- ・場 所 山口グランドホテル3階 末広の間（山口市小郡黄金町1-1）
- ・対 象 外国人材の雇用を検討している企業担当者等
- ・開催方法 会場・web開催
- ・内 容 13時30分 ～人材不足解消のための外国人材活用セミナー

- ・外国人材の現状と受入れの意義
- ・主な在留資格と対象業種
- ・雇用までの基本的な流れ 等

14時15分 ～山口県外国人材受入れサポートデスク説明会

- ・サポートデスクの役割と支援内容
- ・今後の支援スケジュール
- ・利用にあたっての留意点 等

- ・定 員 30名（会場参加者、web参加は制限無し）
- ・講 師 公益社団法人WE ARE ASIAN 企画マネージャー 佐々木 哲英氏
- ・費 用 無料

要事前申込：2025年9月5日(金)まで
下記、読み取りコードからお申込み
ください。



3 現地サポートデスク・マッチング業務

○ ベトナム及びインドネシアに、受入れ機関等の求人ニーズに合った送出し機関等の紹介や外国人材のマッチングを行うと共に送り出し機関に山口県の魅力をPRする「外国人材受入れサポートデスク」を設置

4 外国人材雇用実態調査

○ 外国人材の求人ニーズや雇用実態の好事例を把握するための調査を実施

令和7年度やまぐち中小企業脱炭素化促進支援事業セミナー開催中

山口県中小企業団体中央会

山口県と中央会は、カーボンニュートラルを契機とした県内中小企業の持続可能な経営への転換と成長・発展の実現に向け、脱炭素経営の必要性をはじめ、具体的な取組へつなげるためのセミナーを開催しています。

省エネの取り組み方や補助金の活用、脱炭素経営の端緒である排出量算定の考え方と実際の算定手法の理解、排出削減の国際規格であるSBTの概要などをご紹介しますとともに、脱炭素経営を実践している地域企業の事例として、4社から登壇いただきます。以下の日程で開催しますので、是非ご参加ください。（連携支援部 前田）



日時	場所	登壇企業
9月2日(火) 13:00～16:30	下関商工会議所 下関市南部町21-19	株式会社ハニードライ
9月4日(木) 13:00～16:30	宇部市福祉ふれあいセンター 宇部市琴芝町2丁目4-25	株式会社坂本鉄工所
9月10日(水) 13:00～16:30	萩明倫学舎 萩市江向602番地	株式会社ハニードライ
10月14日(火) 13:00～16:30	山陽小野田市民活動センター 山陽小野田市中央2-3-1	株式会社坂本鉄工所
11月18日(火) 13:00～16:30	山口商工会議所 山口市中市町1-10	株式会社山下工業所
12月9日(火) 13:00～16:30	シンフォニア岩国 岩国市三笠町1丁目1-1	株式会社山下工業所



セミナー詳細・申込

令和7年度移動中央会の開催がスタート

山口県中小企業団体中央会

8月18日(月)、山口市KDDI維新ホールにて移動中央会(小郡会場)を開催しました。移動中央会は、組合・業界・企業が抱える課題や中央会及び行政に対する意見・要望をお聞きし、情報交換を行うことを目的として毎年開催しています。今年度は県下6会場を実施を予定しており、初回である小郡会場には10組合にご参加いただきました。



本会場では、人手不足が深刻化し、経営に大きな影響が生じていることや、引き続き原材料・燃料費等の高騰により収益が悪化しているとの報告のほか、様々なご意見ご要望をお聞きしました。

本会としては、皆様からお聞きしたご意見ご要望を中央会の取組に活かしていくとともに、山口県や県政与党に対し「要望書」として提出し、今後の行政運営に反映してもらうよう要望活動を展開してまいります。(総務企画部 後)

令和7年度通常総会・研修会を開催

山口県中小企業組合士会

7月30日(木)、山口市かめ福オンプレイスにて通常総会を開催しました。事業報告・決算報告、事業計画・収支予算とも原案どおり可決承認され、役員改選では恒松恵子会長(山口県菓子工業組合)が再任されました。また組合士に認定された湯本温泉旅館協同組合の浅野早苗氏の認定式を行いました。

総会終了後行われた研修会では、有限会社ケイ・アンド・ワイの秋穂由香氏より、「説明力～わかりやすく伝える力～」をテーマに講演が行われました。分かりやすく伝えるためには、思い込みや前提のズレ、言葉の曖昧さを改善して相手目線で話すこと等が有効であることを学びました。(総務企画部 藤井)



土曜夜市を開催

萩市田町商店街振興組合連合会

7月5日(出)から7月26日(出)にかけて土曜夜市を開催しました。

キッズダンサーによるダンスパフォーマンスや自衛隊ブースの設置、萩光塩学院吹奏楽部によるコンサートなどの様々なイベントを行いました。

最終日の26日には、昨年度大盛況だった田町妖怪土曜夜市「ワタシヲミツケテ2」が行われ、昨年よりも妖怪が2匹増加し、7匹の妖怪に扮した店主達によるスタンプラリーイベントが行われました。昨年の2倍ほどの参加があり、商店街は大いに賑わいました。(連携支援部 岡村)



価格転嫁交渉術を学ぶ講習会を開催

山口県自動車車体整備協同組合

7月28日(月)、山口市かめ福オンプレイスにて「自動車整備業における適切な価格転嫁交渉術」と題した講習会を開催しました。当業界では、日本自動車車体整備協同組合連合会(日車協連)が大手損害保険会社4社と団体交渉を進め、4社すべてと団体協約の締結で合意に至っています。この進捗を受け、日車協連の理事も務める株式会社杉戸自動車 代表取締役の



泰楽秀一氏を講師に招き、交渉の具体的な進捗状況に加え、実際に価格転嫁を実現するための交渉術についてご講演いただきました。取引先と円滑に個別交渉を進めるため、自社のレバーレート(整備士1時間あたりの作業工賃)を把握することが重要であることなど、参加者は熱心に算出方法について学んでいました。

(連携支援部 平田)

地元の祭りで活動をPR

LAとくぢ協同組合

7月26日(出)、「出雲ふるさとさんさまつり」、8月13日(水)、「島地ふれあい夏まつり」がそれぞれ山口市徳地域域内において開催され、組合として出店し、特定地域づくり事業協同組合制度のPRを行いました。

当組合は、今年の4月に特定地域づくり事業協同組合制度の認定と労働局への届出を完了し、特定地域づくり事業協同組合制度にもとづく労働者派遣事業を開始しています。

この派遣先となり得る山口市徳地域域内に所在する事業者に対する活動の周知を目的に出店し、祭りの中であった告知タイムにおいて、制度概要や派遣先を募集している旨等の周知をおこないました。

なお、制度PRにあわせてフルーツジュースやポップコーン等の販売もされ、こちらの販売についても大いに盛況でした。(連携支援部 花田)



中小企業組合士制度・中小企業組合検定試験のご案内

「中小企業組合士」ってなに？「中小企業組合検定試験」とは？

中小企業の重要性にかんがみ、組合の役職員等の資質の向上、さらには組合の健全な発展に資する事を目的に昭和49年度より中小企業庁の助成のもとに設けられた制度です。

中小企業組合の事務局で働いている役職員の方が職務を遂行する上で必要な知識に関する試験を行い、試験合格者の中から一定の実務経験を持つ方に、中小企業組合士の称号が与えられます。いま、中小企業組合には、ガバナンスの充実が求められており、広く社会の信頼を高めていくためには、組合運営の経験と専門知識を備えた人材が必要です。組合の業務を執行する役員、実務を担う職員の方々に挑戦していただきたい資格です。

令和7年度中小企業組合検定試験概要

試験科目 組合会計 組合制度 組合運営

(一部の科目について合格した場合は、その後3年間はその科目の受験が免除されます。)

試験日時 令和7年12月7日(日) 10:00~16:00

試験会場 山口県商工会館(山口県山口市中央4丁目5-16)

受験料(税込) 3科目受験 7,700円 2科目受験 6,600円 1科目受験5,500円

受験申込 URLより申し込み(<https://www.chuokai.or.jp/index.php/7091/>)

願書受付期間 令和7年9月1日(月)~10月21日(火)



中央会会員組合限定

検定試験受験料相当額・組合士認定料の一部を助成します！(令和5年度以降に初めて受験した方)

- ①検定試験合格者への受験料相当額の助成 3科目全てに合格した方に、初回受験料相当を助成！
- ②組合士認定料の助成 ①の合格者で組合士の認定を受けた方に、組合士認定料の半額相当の7,000円を助成！
- ③組合士認定所属組合への奨励金の支給 ②の認定組合士が所属する組合に対し、12,000円を奨励金として支給！

～検定試験前特別コーナー～ 組合士インタビュー

下関製氷協同組合 中野 伸子様

中野様は令和5年度組合検定試験に合格され、昨年6月に新規認定されました。その後、山口県中小企業組合士会に入会された中野様にインタビューを行いました。

事務局：試験を受けてみようと思われたきっかけについて教えてください。

中野様：一般企業から組合に入り、組合事務局に従事している中で組合の法律について勉強してみたいと思っていました。そんな時に、上司より中小企業組合検定試験の受験を勧められ中央会の助成金についても教えてもらい挑戦してみようと思いました。

事務局：日常業務の中で組合士の資格を取ったことがどのように活かされていると思いますか？

中野様：決算や出資金の出入り、届出について学んだことで、何日前から総会の準備が必要か理解しながら進めていくことができています。

事務局：受験勉強はどのようにされましたか？

中野様：早めに取り組み、5か月前から1日2時間程度、過去問に取り組みました。特に組合会計が難しいと感じ、点数配分がわかっていない筆記の問題については念入りに取り組みました。またネットを活用して知識を身につけ、情報が最新のものか注意しながら勉強を進めていきました。

事務局：組合士を取得するか迷っている方にメッセージをお願いします！

中野様：組合士資格は科目数が多いですが、勉強した分、業務に役立ち、ステップアップすることのできる資格だと感じています！



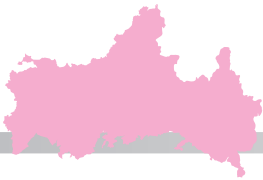
※山口県中小企業組合士会とは…

中小企業組合士が集まり組織した団体であり、中小企業組合士の資質の向上と身分の安定を図るとともに、山口県中小企業団体中央会と協調し、組合士間の横の連携強化と中小企業団体の発展に貢献することを目指し活動しております。現在、山口県の組合士会には43名在籍されております。

組合士会への
入会もお待ちして
おります！

検定試験にご興味のある方はお気軽に問い合わせください！

山口県中小企業団体中央会 総務企画部 藤井 ☎ 083-922-2606



月次景況調査結果

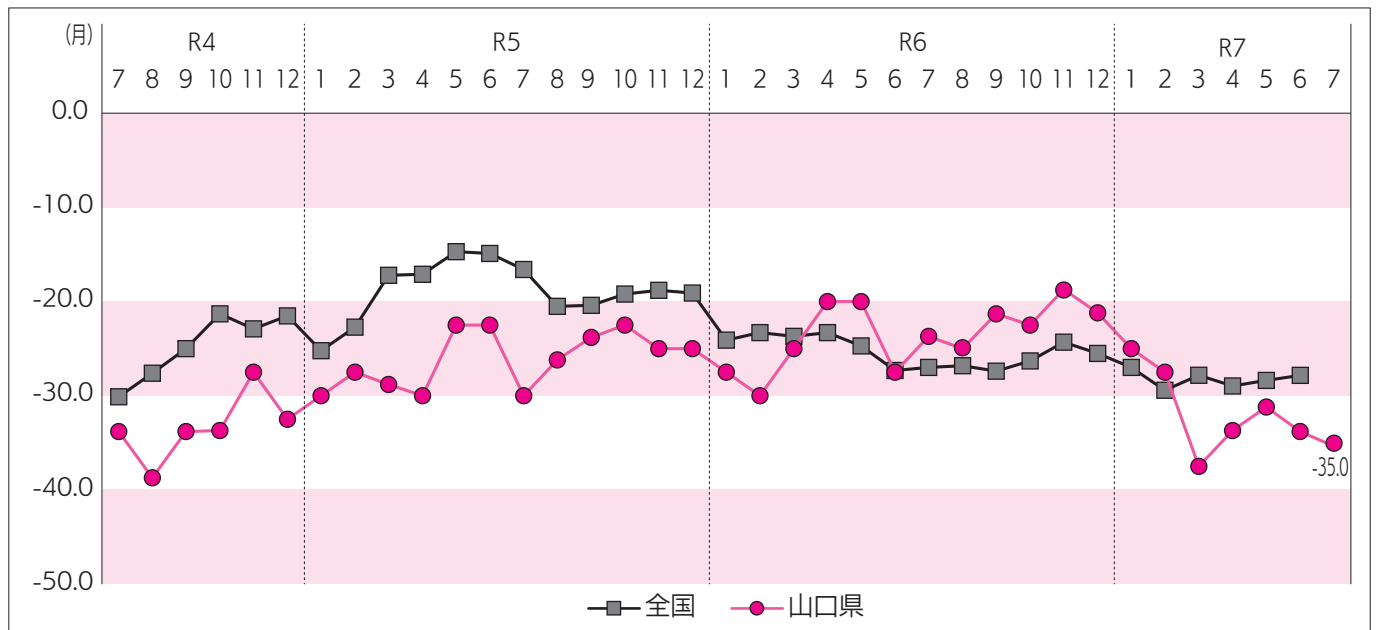
令和7年7月期

売上高は価格転嫁の状況や異例の猛暑の影響により、業種ごとに増減があるが、収益は原材料費の高騰や人件費の増加等に価格転嫁が追いつかず、多くの業種で悪化しており、7月の景況DI値は低い水準のまま改善が見られない。

深刻な人手不足や、物価上昇による消費低迷の傾向に加え、自動車や鉄構関係業種などにおいて米国関税の影響も出てきており、先行きを不安視する報告が多く寄せられている。

業界の景況DI値の推移 — 全国平均との比較 —

※DI値(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標です。
DI値(前年同月比) = 増加・好転組合割合 - 悪化組合割合



項目別のDI値

項目	前年同月比			前月比
	R 7.6月	R 7.7月		
売 上 高	▲30.0	▲25.0		↗
在 庫 数 量	▲10.0	▲20.0		↘
販 売 価 格	26.2	18.7		↘
取 引 条 件	▲16.3	▲15.0		↗
収 益 状 況	▲27.5	▲35.0		↘
資 金 繰 り	▲12.5	▲13.7		↘
設備操業度	▲12.5	▲21.9		↘
雇 用 人 員	▲18.7	▲13.7		↗
業界の景況	▲33.8	▲35.0		↘

DI値

30以上…………… ☀ -30以上-10未満 ☁
10以上30未満…… ☁ -50以上-30未満 ☔
-10以上10未満… ☁ -50未満…………… ☔

業種別 業界の景況DI値

	業 種	前年同月比		前月比
製 造 業	食 料 品	▲50.0	☔	↘
	織 維 工 業	▲33.3	☔	↘
	木 材・木 製 品	▲50.0	☔	→
	印 刷	▲50.0	☔	→
	窯 業・土 石 製 品	▲50.0	☔	→
	一 般 機 器	▲25.0	☁	→
	輸 送 機 器	▲33.3	☔	→
非 製 造 業	卸 売 業	▲40.0	☔	↗
	小 売 業	▲42.9	☔	→
	商 店 街	▲33.3	☔	↗
	サ ー ビ ス 業	▲18.2	☁	↘
	建 設 業	▲27.3	☁	→
	運 輸 業	▲28.6	☁	→
	そ の 他	▲100.0	☔	→

地区・業種を代表する県内組合の役職員の方から、毎月、業界の景気動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

また、中央会ホームページ（<https://axis.or.jp/>）の「月次景況調査」にも掲載していますのでご活用下さい。

製 造 業	食 料 品	☂	○ 猛暑の影響か、持ち運びに不便な洋菓子店では特に客数が減少。（パン・菓子製造業） ○ 猛暑の影響で人の動きが鈍く前年より商品の動きが悪化した。8月は夏休みやお盆に向けての準備になるが、少しでも観光客等で人が動くことに期待。（水産食料品製造業） ○ 猛暑で製品の劣化が進まないよう、陳列方法や出荷数の調整をするとともに、作り手の健康を第一に考え、早朝から冷房をつける等の熱中症対策を講じている。（食料品製造業）
	織 維 工 業	☂	○ 受注量が減少し先行きが懸念されとの声が出ている。（外衣・シャツ製品製造業） ○ 暑熱対策工事が増加しており、売上も安定してきている。（帆布製品製造業）
	木 材 ・ 木 製 品	☂	○ 組合員7社の平均売上額は、前年同月比20%減であった。
	印 刷	☂	○ 慢性的な高齢化に伴う技術継承の停滞や、若年労働者の定着率の低さという人手不足の問題を依然として抱えている。 ○ 昨年同時期は大きな仕事の受注があったが、今年はそれがなく売上が落ち込んだ。
	窯 業 ・ 土 石 製 品	☂	○ 前年比▲67%と、昨年の特需を考慮しても50%の出荷量に留まった。製造量が減れば生産コストも上がるため、利益が出ない状況。（コンクリート製品製造業） ○ 7月の出荷量は前月比107%、前年同月比76%であった。（生コンクリート製造業） ○ 夏休みに入り、週末の売上は好転。お盆週に向けての在庫造りも進み、充実した月となった。土問題や原材料の価格高騰問題は、依然として続いている。（陶磁器製品製造業）
	一 般 機 器	☁	○ 大きな設備投資が少なく仕事量が不足しており、県外営業をしている企業も増加している模様である。（周南市） ○ 仕事量は確保しているが、見積引き合いが減少している。自動車関連企業を中心に受注が減少。アメリカ関税の影響で設備投資・補修関係の案件は先送りになり、計画も具体的に決まっていないクライアントが多く先が見えない状況。（防府市）
	輸 送 機 器	☂	○ 人件費や原材料費・電気料等の高騰及び借入金の金利上昇圧力もあり、収益面で厳しい状況が続いている。半導体製造装置の部品製造業において、当初の予測より受注量が減少、今後もしばらくは低位に推移すると推測される。
	卸 売 業	☂	○ 安定した倉庫運営が続いている。昨年とほぼ同等の売上を維持している。（乾物卸売業） ○ 猛暑により鮮魚の荷揚げが減少。客足も伸びず、売上も減少した。（生鮮・魚介卸売業） ○ 猛暑の影響か、製氷・飲料関連商品の売上が増加している。（各種商品卸売業）
	小 売 業	☂	○ 県内の化粧品専門店の売上状況は前年比僅かに減少。生活必需品などの値上げにより景気が下がっていると推測される。（化粧品小売業） ○ 7月の売上高は前年比99.3%、来店者数は前年比96.8%。酷暑の影響で特売のない日は客数が激減したが、土用丑の日のうなぎの売上は好調だった。（各種商品小売業）
	商 店 街	☂	○ 厳しい暑さにより商店街の来街者が減少している。青果業界は高値が続いているため、冷凍食品へと需要が流れ、売上が減少している模様。（山口市） ○ 食料品等については前年比ほぼ横ばいとなっている。7月の毎週土曜日に開催した「土曜夜市」では、集客はあったものの、売上の増加とはならなかった。（萩市） ○ 猛暑により商店街の来街者が激減している。ポイント祭りでの商品券交換が完売したため、8月の来街者数の増加に繋がることに期待。（下関市）
非 製 造 業	サ ー ビ ス 業	☁	○ 暑さによる気分転換のためか、カット目当ての来客で連日忙しい日が続いている。全体的に5%程度売上が伸びている。（美容業） ○ 衣替えが長引いたことにより、7月は前年同月比で売上が増加した事業所もあった。長期的にみると、家庭で洗える衣類の増加・ビジネスウェアのカジュアル化が進んだことで、これまでのビジネスモデルだけでは通用しなくなっていると感じる。（普通洗濯業） ○ 鹿児島県沖で頻発した地震や、大災害の予言による風評被害の影響か、インバウンドが減少した。夏休みに突入したが、観光客の出足も鈍い。（旅館業）
	建 設 業	☁	○ 全般的に工事は停滞気味。市域を大きく超えて施工する同業者は、まずまずの工事量を確保できている模様。（左官工事業） ○ 連日の異常な猛暑により、熱中症の予防に徹している為、土木建築現場では工程の進捗に影響が出ている。（一般土木工事業 柳井市） ○ 7月の受注高は84.3%、今年度の累計は対前年比117.7%。（一般土木工事業 萩市）
	運 輸 業	☁	○ 貨物輸送・倉庫保管ともに低迷しているが、潜在的な荷物はあるようで、大口の依頼もいくらかある。新規顧客開拓に力を注いでいく。（一般貨物自動車運送業） ○ 7月の取扱高は前年同月比でほぼ同程度であった。（港湾運送業）
	そ の 他	☂	○ 原材料費・エネルギー価格の高騰や、人手不足による人件費の増加等により収益が悪化している事業所が多い。収益の減少と人材確保が困難な状況の中で、外国人材の採用を検討している事業所も増えてきている模様。（介護事業）

連携促進プロジェクト2025

本プロジェクトでは、他事業者との連携のヒントを得るためのイベントを開催していきます。

「事業アイデア発見術」

自社の強みを再認識し、それを活かした新しいアイデアを生み出すためのワークショップ

開催日時 令和7年10月11日(土) 13:00～16:30
(終了後、名刺交換交流会を開催)
場 所 山口グランドホテル サファイア
(山口市小郡黄金町1丁目1-1)
内 容
・新規事業を考えるポイント
・生成AIの効果的な活用術
・自社の強みを発見するワーク
・強みを活かしたアイデア発見術
・リソース不足を連携で解決するポイント
講 師
・中村 真二氏
(合同会社トラストリード 代表社員)
・河口 隆氏
(株式会社アワセルプス 代表取締役)

詳細・申込
<https://axis.or.jp/info/21652.html>



「実例で学ぶ みんなの共創ストーリー」

成功事例から課題解決のヒントを得る事例発表とトークセッション(企業連携編)

開催日時 令和7年10月22日(木) 15:00～17:10
(終了後、交流会を開催)
場 所 KDDI維新ホール 205AB
(山口市小郡令和1丁目1-1)
内容及び講師
・講演「共創と組合が拓く地方ビジネスの可能性」
株式会社寿美礼 代表取締役 和田 健資 氏
・事例発表 SAGA COLLECTIVE協同組合
事務局長 山口 真知 氏
・事例発表 SUSANOO 事務局長 山根不二夫 氏
・トークセッション

詳細・申込
<https://axis.or.jp/info/21687.html>



対象
・新しい事業アイデアを模索している方
・他事業者との連携や協業に興味がある方
・自社のリソースだけでは解決できない課題を抱えている方

参加料
無料

定員
25名程度

【お問い合わせ先】 山口県中小企業団体中央会 平田 (TEL 083-922-2606)



フジグラン宇部 やまぐち地産・地消フェア

10月2日(木)～5日(日)

時間:9:00～19:00(最終日は17:00まで)
場所:フジグラン宇部(宇部市明神町3丁目1-1)
1階モール催事場

県内各地の企業組合が作るおいしい
商品を販売します。ぜひお越しください！



※写真はイメージです。出店商品は中央会ウェブサイトなどでお知らせします。

第77回 中小企業団体全国大会(広島大会)のご案内

日 時 令和7年11月12日(水) 13:00～17:30予定
①全国大会/13:00～15:30 ②交流会/16:00～17:30

場 所 ①広島県立総合体育館(広島市中区基町4-1)
②リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78)

主 催 全国中小企業団体中央会 広島県中小企業団体中央会

お問い合わせ先 山口県中小企業団体中央会 ☎083-922-2606 (総務企画部 水野・山本)



広島県中央会HP▲

皆様のご参加をお待ちしております。





組合員企業紹介

萩温泉旅館協同組合

株式会社北門屋敷

萩市堀内210-12

代表取締役社長 吉村 龍一郎

従業員数 66人

組合員企業の様々な取組事例について紹介します。

今回は、世界遺産『萩城下町』で唯一の宿を運営する「株式会社北門屋敷」の、萩の歴史と伝統を守りながら観光の新たな可能性を切り拓き、その魅力を次世代へと繋ぐための取り組みをご紹介します。



北門屋敷HP

萩の歴史と伝統を未来へつなぐ

当社が位置する萩市は、歴史を観光コンテンツとしている全国的にも珍しい地域です。お客様へのおもてなしに加え、街並みをいかに保全し、次世代へ繋いでいくかが重要な課題となっています。現在、萩温泉旅館協同組合の理事長を務める傍ら、まちじゅう博物館堀内部会の部会長として、この歴史的景観を守ることに強い思い入れを持って取り組んでいます。堀内地区の町並みは、1976年に日本で最初の重要伝統的建造物群保存地区として登録されました。古地図を片手に宿から一步踏み出せば、そのまま観光ができるほど、歴史的な町並みが今も保たれています。この美しい景観を守るとは、決して容易ではありません。例えば、宿を改築する際にも石垣は壊すことができないなど、現代の利便性とは異なる制約があります。私たちは、この不便さや制約こそが文化財を守ることであり、かけがえのない歴史的価値を次世代に繋ぐために、日々の営みを続けています。



萩城下町の町並み

観光コンテンツを再構築し地域全体の魅力を高める

萩の歴史は「毛利家の城下町」と「明治維新」という2つの柱に支えられ、歴史観光地としては成熟していると言えます。それに加え、萩は海が近いので豊かな食文化も大きな魅力だと捉え、その発信にも注力しています。

一方で、旅行のスタイルは団体から個人へと変化し、この個人旅行の増加に伴い、市内の交通アクセスが課題として浮上しています。主要な観光地を巡る市内巡回バスがないなど、観光客の利便性はまだ十分とは言えません。さらに近年はSNS映える観光資源が注目されるなど、流行は目まぐるしく移り変わっています。このような時代の変化に対応するため、私たちは萩全体を屋根のない博物館と見立てる体験プログラム「萩まちじゅう博覧会」を継続開催するなど、地域全体で萩の観光コンテンツを再構築しています。様々な課題を一つひとつクリアしながら、持続可能な観光地を目指し、未来に向けて活動しています。



萩城三の丸北門屋敷

人材育成と多角的な事業展開

当社は、従業員一人ひとりが萩の歴史を語れるようになるための歴史教育に力を入れることで、萩の魅力を次世代へつなぐ担い手を育てています。2つの宿「萩城三の丸北門屋敷」「萩八景雁嶋別荘」に加え、萩焼窯元「萩城窯」、団体昼食・土産物販売も行う「萩焼会館」を運営しています。観光総合施設として萩市の観光業を多角的に支えることで、地域の持続的発展に貢献していきます。